

---

# 北海道浮魚ニュース

平成 20(2008)年度 7 号(通巻 No.260)

2008 年 7 月 7 日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

---

## 道東太平洋マサバ・マイワシ漁期前調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

調査期間 : 2008 年 6 月 25 日 ~ 7 月 3 日

調査海域および調査点 : 道東 ~ 三陸沖太平洋(北緯 39 度 50 分 ~ 42 度 00 分、東経 143 度 10 分 ~ 146 度 20 分)における 7 調査点(図 1、表 1)

調査方法 : 10 種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82,182mm)の流し網を用いた漁獲試験

漁獲試験を行った 7 調査点の表面水温は 10.5 ~ 17.8 (前年 : 12.0 ~ 18.9)、50m 層は 3.0 ~ 13.1 (前年 : 2.3 ~ 12.9)、100m 層水温は 2.8 ~ 10.8 (前年 : 1.7 ~ 11.3)でした(表 1)。

漁獲試験の結果は表 1 のとおりで、流し網調査 1 回当たりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化は図 2 のとおりです。

漁獲試験で採集された漁獲物は以下のとおりです。

**サバ類(マサバ、ゴマサバ)**は、3 調査点で 3 ~ 473 尾、合計 538 尾漁獲されました。CPUE は 76.9 尾/回で前年の 33.1 尾/回を上回り、1994 年以降では 2 番目に高い値を示しました。しかし、CPUE の高い近年(2005 ~ 2007 年)の道東海域でのサバ類漁獲量が 12 ~ 3,324 トンに留まっていることから、資源水準は依然低い状態にあるものと思われます。魚体は尾叉長 11 ~ 15cm 台と 23 ~ 39cm 台で、26 ~ 27cm 台が主体でした。なお、34 cm 台にも副モードがみられました。

**マイワシ**は、漁獲されませんでした。依然、資源水準は非常に低い状態です。

**カタクチイワシ**は、5 調査点で 1 ~ 24 尾、合計 43 尾漁獲されました。CPUE は 6.3 /回で、前年の 1,668.7 尾/回を大きく下回り、1994 年以降では最も低い値でした。魚体は体長 11.5 ~ 14.0cm 台で、13.0cm 台が主体でした。

**サンマ**は、5 調査点で 1 ~ 173 尾、合計 297 尾漁獲されました。CPUE は 42.4 尾/回で、前年の 307.4 尾/回を大きく下回ったものの、1994 年以降では 5 番目に高い値でした。

**スルメイカ**は、5 調査点で 1 ~ 35 尾、合計 78 尾漁獲されました。CPUE は 11.1 尾/回で、前年の 11.7 尾/回を僅かに下回り、1994 年以降では 6 番目に高い値でした。

**アカイカ**は、1 調査点で 2 尾、合計 2 尾漁獲されました。CPUE は 0.3 尾/回で、前年の 13.4 尾/回を下回り、1994 年以降では 2 番目に低い値でした。

来る 7 月 29 ~ 30 日に、中央水産研究所資源評価部(横浜市)で長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁況予報が発表される予定です。

(文責 : 釧路水試 資源管理部、直通電話 : 0154-23-6222、FAX : 0154-23-6225)

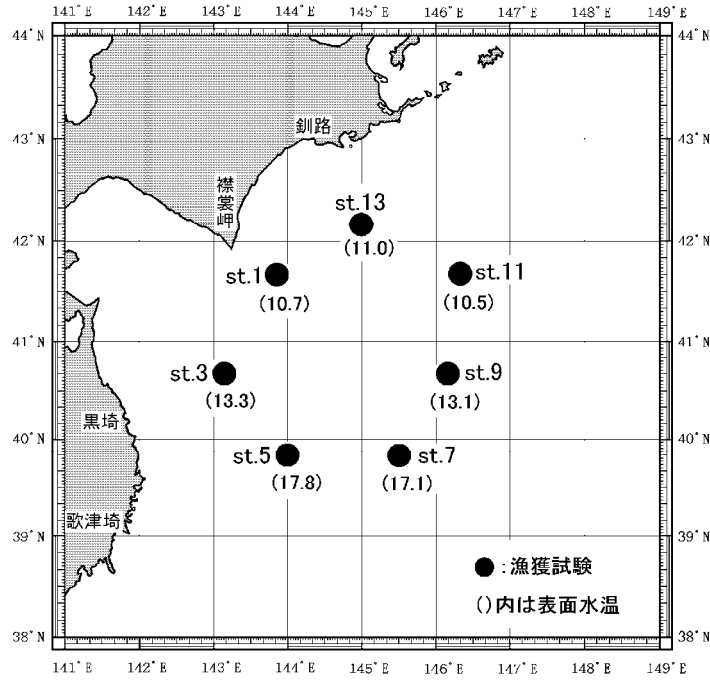


図1 漁獲試験調査点

表1 水温および魚種別採集尾数

st.	1	3	5	7	9	11	13	合計
表面水温( )	10.7	13.3	17.8	17.1	13.1	10.5	11.0	
50m水温( )	3.0	8.1	12.7	13.1	6.0	3.6	4.9	
100m水温( )	2.8	4.4	10.3	10.8	3.0	3.9	4.1	
サバ類			473	3	62			538
マイワシ								0
カタクチイワシ	6	4	1	24	8			43
サンマ	14	27	82	173	1			297
スルメイカ	27	13	1	2	35			78
アカイカ			2					2

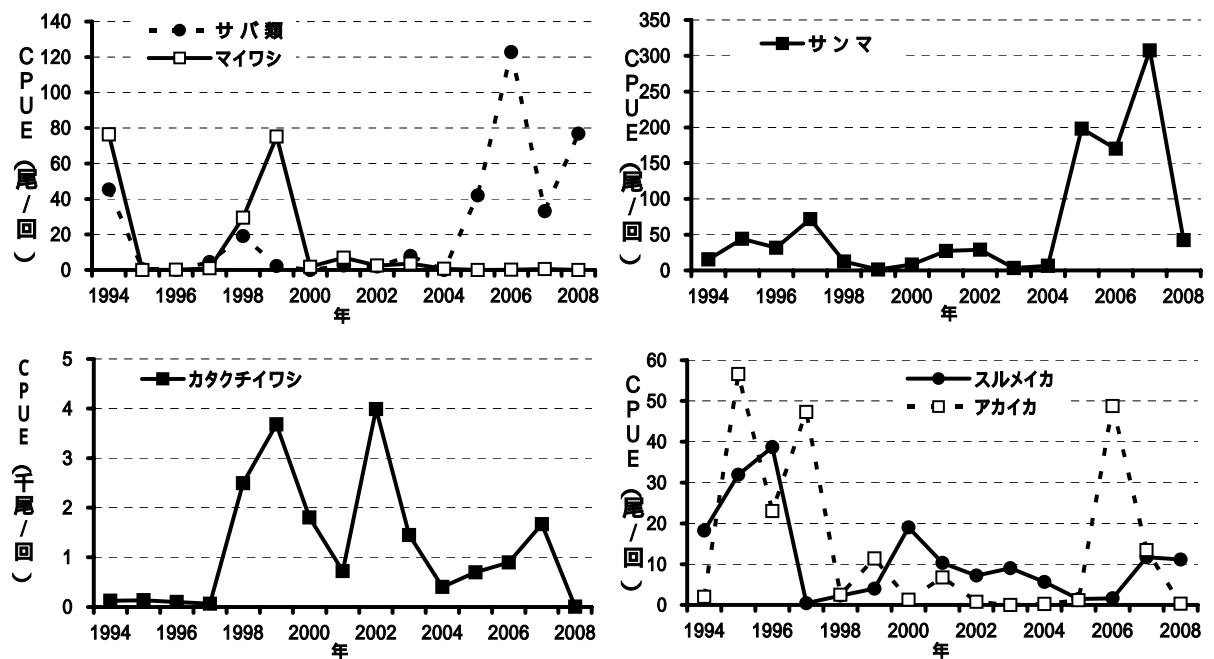


図2 流し網調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化